



京都教育大学 附属図書館概要

KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION LIBRARY



令和元年度

目次

1. 沿革	1
2. 理念と目標	4
3. 組織（令和元年5月1日現在）	5
4. 利用案内	6
5. 利用状況（平成26年度～平成30年度）	7
6. 図書館資料（平成31年3月31日現在）	9
7. 施設（平成31年3月31日現在）	11
8. 平成30年度 特色ある取り組み	14
9. 刊行物	17
10. 教科書展及び特別展	18
11. 電算化状況	21
12. 歴代館長	22
13. 位置図	24

1. 沿革

- 昭和 24 年 5 月 京都学芸大学設置 附属図書館設置
国立学校設置法（昭和 24 年法律第 150 号）により、京都師範学校、京都青年師範学校を包括して、京都学芸大学が設置された。同時に附属図書館が設置され、桃山分校（二年課程）には桃山分館が設置された。初代図書館長が発令されるまでの間、図書課長が命ぜられた。
- 9 月 初代事務長が発令された。
- 昭和 25 年 4 月 初代図書館長が発令された。
- 5 月 京都学芸大学附属図書館閲覧規程が制定された。
- 10 月 京都学芸大学附属図書館評議会規程が制定された。
- 12 月 京都学芸大学事務分掌規程が制定され、附属図書館に庶務係、司書係、閲覧係が、桃山分館に図書係が設置されたが、係長は配置されず、事務長が直接統轄した。
- 昭和 26 年 8 月 京都学芸大学事務分掌規程を廃止し、京都学芸大学処務規程及び京都学芸大学各部局処務規程が制定され、課、事務部を掛に分け、これを係に細分化し、掛に掛長を、係に主任を配置することとされた。
- 昭和 29 年 5 月 新たに、京都学芸大学処務規程及び京都学芸大学各部局処務規程が制定され、掛組織を廃止し、係組織に一本化され、庶務係及び司書係が設置されたが、当分の間、係長は置かれなかった。その後、昭和 30 年 4 月に庶務係長が、昭和 35 年 4 月に司書係長が配置された。なお、桃山分館にあっては、図書以外の事務については、桃山分校事務長の命を受けることとされた。
- 9 月 京都学芸大学附属図書館長選考規程が制定された。
- 昭和 32 年 3 月 桃山分校の廃止に伴い、桃山分館も廃止された。
- 4 月 京都学芸大学各部局処務規程の一部が改正された。
- 9 月 大学、現在地に移転
大学の移転に伴い、附属図書館も現在地の一棟（二階）に移転した。
- 昭和 36 年 3 月 京都学芸大学事務組織規程が制定された。
- 昭和 40 年 3 月 図書館新築
附属図書館が新築された。（鉄筋二階建、1,558 m²）
- 昭和 41 年 4 月 京都教育大学に改称
国立学校設置法の一部を改正する法律（昭和 41 年法律第 48 号）により、京都学芸大学は京都教育大学に改められ、附属図書館も京都教育大学附属図書館と改められた。
京都教育大学附属図書館規程が制定された。
- 昭和 42 年 9 月 京都教育大学附属図書館評議会規程を廃止し、京都教育大学附属図書館運営委員会規程が制定された。
- 昭和 43 年 4 月 京都教育大学事務組織規程の一部を改正し、庶務係を総務係に改め、司書係を整理係と閲覧係の二係にした。
- 9 月 京都教育大学附属図書館閲覧規程を廃止し、京都教育大学附属図書館利用規則が制定された。
- 昭和 52 年 6 月 図書館増築
- 昭和 54 年 4 月 附属図書館の閲覧室、書庫が増築された。（鉄筋二階建、1,147 m²）
時間外開館を開始した。（開館時間は、平日 9 時～20 時、土曜日 9 時～17 時）

- 平成3年 4月 京都教育大学事務分掌規程の一部を改正し、整理係を情報管理係に、閲覧係を情報サービス係に、それぞれ改めた。
- 10月 教官発刊コーナーを設置した。
- 平成4年 5月 週休五日制施行に伴い、時間外開館を変更した。
(開館時間は、平日 9 時 ~ 20 時、土曜日 9 時 ~ 13 時)
- 平成5年 3月 日下部奨学寄附金により、「日下部文庫」を創設した。
- 平成6年 1月 「京都教育大学の現状と課題」の中で、附属図書館の自己点検を報告した。
- 平成8年 4月 附属図書館のホームページを開設した。
- 6月 「京都師範学校から京都教育大学へ 120 年の歩み」が刊行された。
- 10月 土曜日の開館を 17 時まで延長した。
- 12月 平日の開館を 21 時まで延長した。
- 平成9年 3月 平成 8 年度教育研究学内特別経費プロジェクト研究により、「京都教育大学附属図書館 所蔵初等教育用教科書目録」が刊行された。
- 平成10年 2月 ホームページ上に OPAC を公開した。
- 3月 京都教育大学附属図書館利用規則を一部改正し、教職員・大学院学生に対する館外貸出について、5 冊 15 日間を 10 冊 30 日間とした。
- 平成12年 3月 「京都教育大学の現状と課題 2000 (平成 12 年度京都教育大学自己点検・評価報告書)」の中で、附属図書館の自己点検を報告した。
- 10月 「京教図書館 News」を発行した。
- 平成13年 2月 京都教育大学発刊コーナーを設置した。
- 3月 教育・研究者の紹介—研究者総覧—を刊行した。
- 4月 京都教育大学附属図書館利用規則を一部改正し、CD の館外貸出期間 2 日間を 8 日間とした。また、京都教育大学附属図書館学外者利用要項を制定した。
- 11月 京都教育大学附属図書館学外者利用要項を一部改正し、学外者に館外貸出を開始した。
- 平成14年 2月 京都教育大学附属図書館学外者利用要項を一部改正し、学外者に DVD 貸出を開始した。
- 平成15年 4月 学内行事「ふれあい伏見フェスタ」に参加し、附属図書館の日曜一般開放を実施した。
- 平成16年 1月 京都教育大学附属図書館利用規則を一部改正し、利用者の範囲・制限、入館手続き、利用制限、図書館資料の目録と図書館利用規則の閲覧室備え付けについて追記した。
- 2月 京都教育大学附属図書館文献複写規則及び京都教育大学文献複写等細則を制定した。
- 4月 国立大学法人に移行
国立大学法人法の施行及び国立大学設置法の廃止により、京都教育大学は国立大学法人京都教育大学に移行し附属図書館も国立大学法人京都教育大学附属図書館と改められた。
国立大学法人京都教育大学図書管理規則、附属図書館利用規則、附属図書館利用証及び入館証取扱要項を制定した。
附属図書館運営委員会を廃止し、学術委員会に図書館部会を置き、附属図書館の運営に関する事項を審議することとした。

- 平成 18 年 4 月 京都教育大学紀要第 108 号よりホームページ上での公開を開始した。
- 8 月 事務組織再編を行った。(グループ化)
事務組織再編に伴い、京都教育大学附属図書館利用規則、京都教育大学図書管理規則及び貴重書の取扱いに関する申合せの一部改正を行った。
- 平成 19 年 4 月 京都教育大学附属図書館利用規則第 3 条について一部改正をした。
資料選択委員会を廃止し、学術委員会図書館部会で資料の選択に関する事項を審議することとした。
月例休館日を第 3 水曜日から第 1 水曜日に変更した。
- 平成 20 年 7 月 京都教育大学学術委員会規程を一部改正し、学術情報リポジトリに関する事項を加えた。
京都教育大学学術情報リポジトリ運用指針を制定した。
- 平成 21 年 3 月 京都教育大学附属図書館利用規則第 12 条(館外貸出・貸出期間等)について一部改正をした。
- 10 月 京都教育大学学術情報リポジトリ「クエリの森」を一般公開した。
- 平成 22 年 4 月 京都教育大学附属図書館利用規則第 12 条(館外貸出 貸出冊数)について一部改正をした。
- 9 月 京都教育大学附属図書館の理念と目標を制定した。
- 平成 23 年 4 月 京都教育大学附属図書館委員会規程を制定し、京都教育大学学術委員会規程を廃止した。
大学の組織改革により、附属図書館委員会を設置し、学術委員会を廃止した。
大学の組織改革に伴い、京都教育大学附属図書館規程を一部改正した。
京都教育大学附属図書館利用規則第 11 条(利用制限、第 1, 2 項の追加)、第 12 条(館外貸出、表現の変更)を一部改正した。
カウンター業務等サービス業務の外部委託を開始した。
- 平成 24 年 4 月 図書館増改修開始
- 10 月 改修に伴い、事務局棟 3 階に附属図書館分室を開館した。(10 月 15 日～平成 25 年 2 月 15 日)
- 11 月 附属図書館の西館 1 階の一部および、2 階～4 階が増築された。(1,772 m²)
- 平成 25 年 3 月 改修工事が完了し、児童書コーナー、ラーニングcommons、研修セミナー室、研究個室等が設けられた。(附属図書館の総面積 4,357 m²)
3 月 28 日よりプレオープンした。
- 8 月 全学の事務組織再編により、事務局が廃止され課制となり、また学内の情報部門と図書館グループを統合し、研究協力・附属学校支援課図書・情報グループとなった。
事務組織再編に伴い、京都教育大学附属図書館規程を一部改正した。
- 9 月 西館 3、4 階に電動集密書架を設置した。
- 平成 26 年 10 月 10 月 23 日に「京都教育大学附属図書館増築・改修工事竣工記念式典」を開催した。
- 2 月 附属図書館文献複写規則の改正を行い、カラー複写料金を設定した。(学内者 40 円、学外者 55 円)
附属図書館システムの更新を行った。
- 10 月 特別貸出の期間および貸出冊数を改正した。
- 平成 27 年 4 月 附属図書館委員会規程を一部改正した。(第 2 条関係)
創立記念日(6 月 1 日)の定期休館を廃止した。
京都教育大学紀要において教科教育分野の希望者への査読を開始した。
- 8 月 館内特定のエリアにおける蓋付飲料の利用を可能にした。
- 9 月 学修支援員の設置を開始した。

- 平成 29 年 3 月 京都府立図書館と相互協力に関する協定を締結した。
視聴覚室を改修し、グローバルスクエアが設けられた。
- 5 月 視聴覚資料の貸出点数および期間を改正した。
資料の館外貸出に関する申し合わせを定めた。
- 平成 30 年 1 月 貸出資料の延滞に関する罰則期間を緩和した。
- 2 月 大学入試日の土曜日休館および期末試験を含む期間の日曜日開館の試行を決定した。
- 8 月 企画展示室の一部を事務室に変更した。
- 10 月 災害等における閉館措置についての申し合わせを定めた。
- 12 月 大学入試日の土曜日休館および期末試験を含む期間の日曜日開館の実施を決定した。

2. 理念と目標

(1) 理念

京都教育大学は、その教育目的と研究目的に基づき、京都教育大学附属図書館（以下、「図書館」と略す）を設置して学術情報基盤を整備し、「人を育てる」知の拠点の構築をめざす。

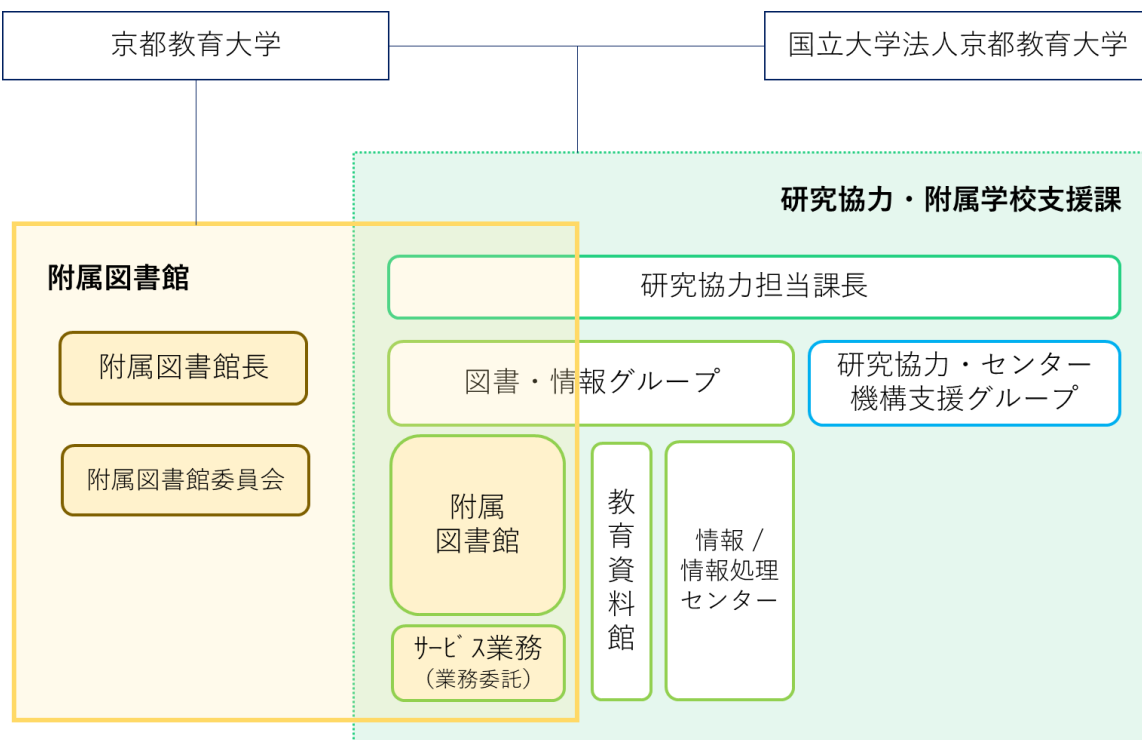
この使命の遂行のために図書館は、先進的な学術情報、および豊かな学習・教育・研究環境を利用者に広く提供し、学内各組織や学外の学術・教育機関と積極的に交流して、教育・研究活動の進展に寄与する。

(2) 目標

1. 教育に関する学術資料を適切に収集・組織化・保存し、利用しやすい形で提供する。
2. 先進的な資料あるいは歴史的に価値ある資料および関連情報を提供して、教育・研究活動を支援する。
3. 情報リテラシー教育の提供と学習スペースの整備によって、学生・院生の主体的な「知の創造」を支援する。
4. 学内で生産される学術資料を収集・保存し、また電子化して、学内各組織と連携しながら学内外に情報発信を行う。
5. 学術資料提供サービスの向上のため、他大学図書館および教育機関との相互協力を進める。
6. 学術資料や貴重資料の公開、講演・展示の催しなどを通じて、地域の文化振興に貢献する。
7. 上記目標を達成するために図書館は、利用者のニーズや期待を把握してそれに応え、さらに図書館職員のサービス提供能力が向上するように努める。

3. 組織 (令和元年5月1日現在)

(1) 機構図



(2) 附属図書館の職員数

		専任	臨時	計	業務委託等
管理職		1		1	
一般	庶務・会計		2	2	
専門	情報処理			0	
	受入			0	
	整理	1	1	2	1
	閲覧	1		1	7
	参考			0	
業務全般		1		1	
その他 (情報・資料館)		3	1	4	
総計		7	4	11	計 8

4. 利用案内

(1) 開館時間

	月～金曜日	土曜日
通常期	9:00～21:00	9:00～17:00
休業期	9:00～17:00	休館

(2) 休館日

- 日曜日、祝日（国民の祝日に関する法律に規定する休日）※試験期の日曜は開館
- 夏季一斉休業日（平成30年度は、8月13,14日）
- 年末年始
- 休業期間中の土曜日
- 館内整理日（原則として奇数月の第1水曜日）
- その他、臨時に休館することがある。

(3) 館外貸出条件

a. 普通貸出

区分	教職員・大学院学生			学部学生			一般利用者		
	冊数	期間	更新	冊数	期間	更新	冊数	期間	更新
図書	12冊	4週間	1回 (2週間)	7冊	2週間	1回 (2週間)	5冊	2週間	不可
CD・DVD	図書と同様の貸出点数・期間						不可		

b. 休暇貸出（一般利用者を除く）

休業期には貸出期間を別途定める。冊数は普通貸出と同様。

c. 特別貸出（一般利用者を除く）

区分	教職員・大学院学生			学部学生		
	冊数	期間	更新	冊数	期間	更新
全体	10冊	16週間	不可	5冊	16週間	不可
うち開架 図書	4冊	8週間		2冊	8週間	

d. 貸出できないもの

雑誌、貴重図書、禁帯出資料

5. 利用状況（平成26年度～平成30年度）

（1）開館日数・入館者数

	H26	H27	H28	H29	H30
開館日数	272	271	272	265	261
入館者	62,548	69,658	80,586	83,568	89,445

（2）館外貸出冊数

区分	年度				
	H26	H27	H28	H29	H30
教職員	2,175	2,105	2,339	2,747	2,952
学生	21,163	20,591	21,078	20,584	19,716
学外者	1,575	1,388	1,933	2,059	1,535
計	24,913	24,084	25,350	25,390	24,203

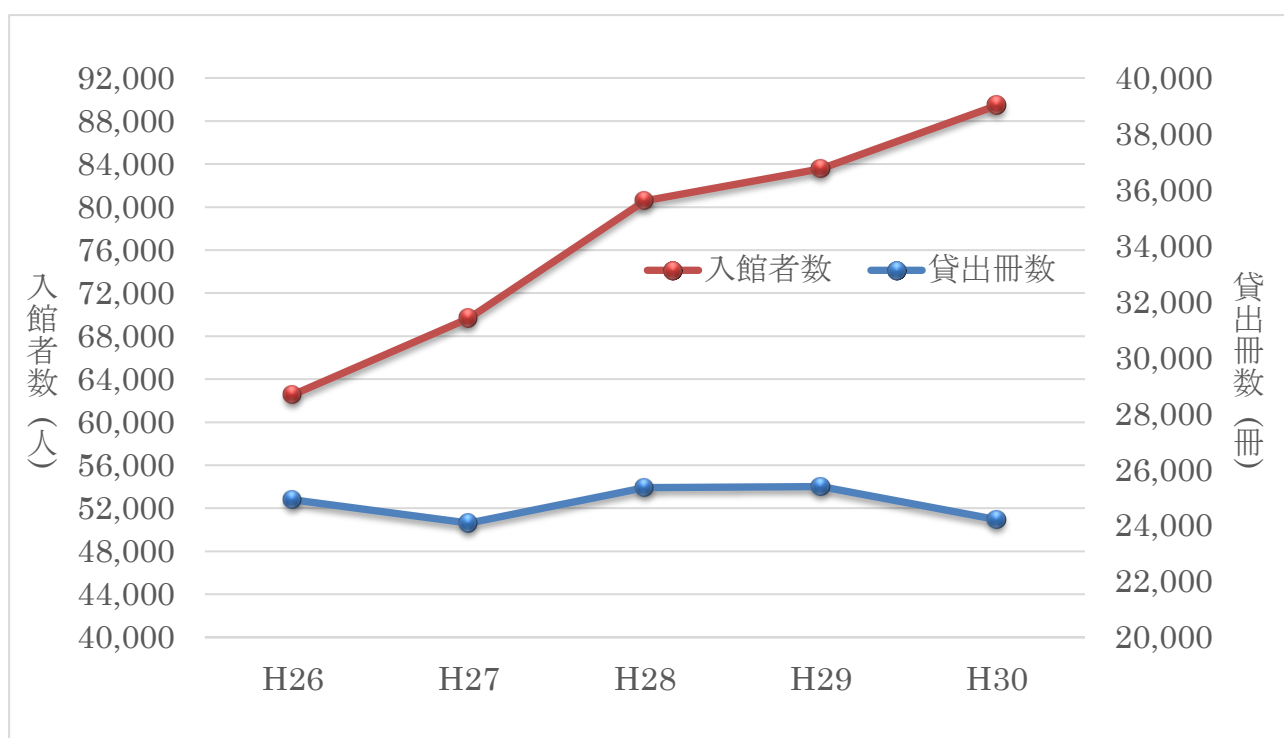


図1：入館者数と貸出冊数の推移（平成26-30年度）

(3) 参考業務件数

内容 \ 年度	H26	H27	H28	H29	H30
所在調査	655	649	511	347	136
事項調査	74	7	7	24	5
利用指導	1,755	1,625	974	829	851
その他	346	241	270	300	73
合計	2,830	2,522	1,762	1,500	1,065

(4) 相互利用件数

内容 \ 年度	H26	H27	H28	H29	H30
文献複写(依頼)	578	410	653	409	408
文献複写(受付)	955	790	858	680	663
現物貸借(借受)	72	76	89	110	110
現物貸借(貸出)	185	206	164	263	222

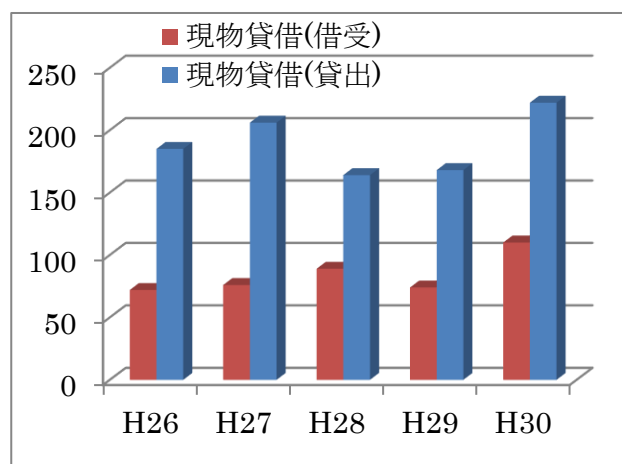
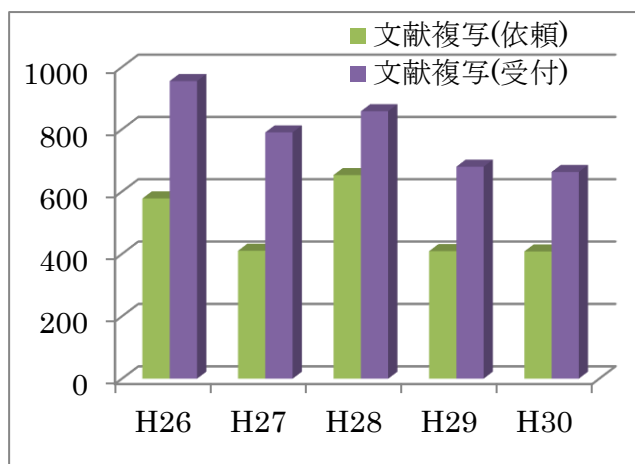


図2：相互利用の推移（平成26-30年度）
（左）文献複写、（右）現物貸借

6. 図書館資料（平成31年3月31日現在）

(1) 蔵書

蔵書冊数（冊）			雑誌タイトル数（種類）			視聴覚資料 （点数）	電子書籍 （点数）	電子ジャーナル 契約数
和	洋	計	和	洋	計			
375,952	72,790	448,742	5,509	1,233	6,742	3,512	123	6,995

(2) 年間受入数

	H26	H27	H28	H29	H30
和書（冊）	7,136	8,126	10,753	11,376	7,412
洋書（冊）	698	436	613	652	806
計	7,834	8,562	11,366	12,028	8,218
和雑誌（種類）	1,050	1,117	1,005	1,090	927
洋雑誌（種類）	131	117	78	72	79
計	1,181	1,234	1,083	1,162	1,006

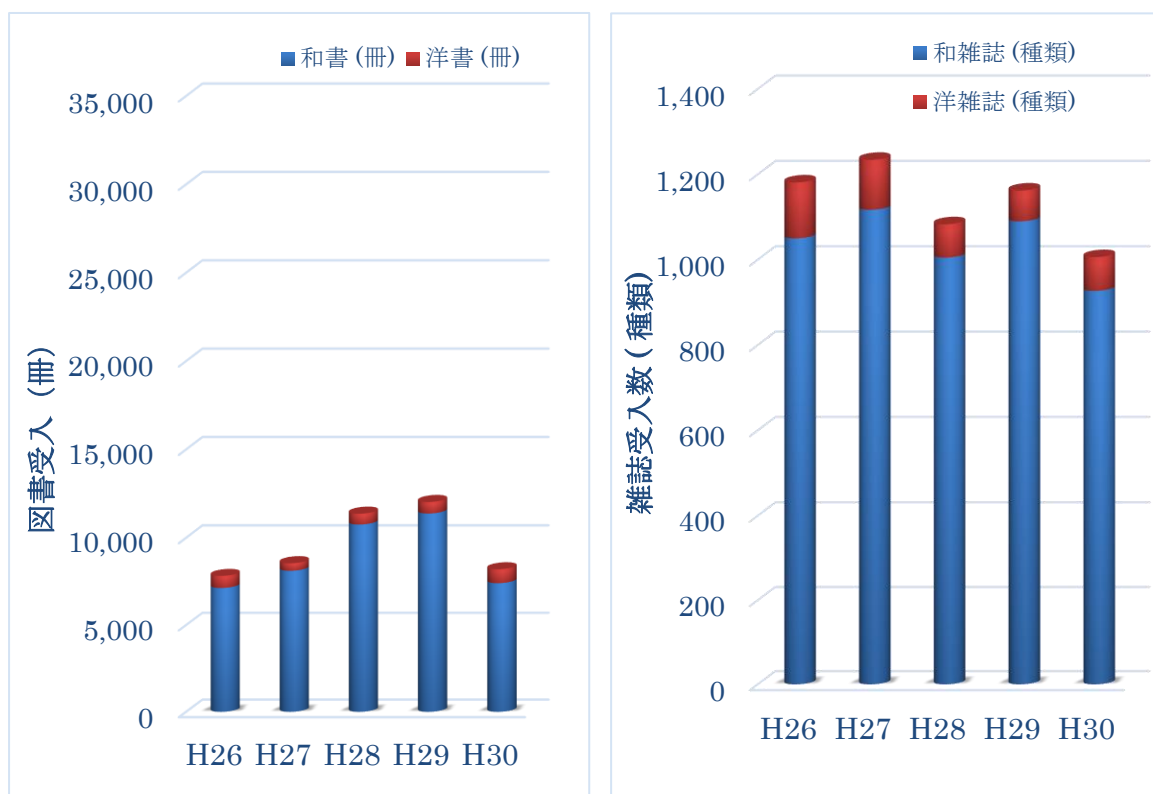


図3：年間受入数（平成26-30年度）
（左）図書（冊数）、（右）雑誌（種類数）

(3) 契約データベース一覧

- ✓ 聞蔵Ⅱ ビジュアル
- ✓ Japan Knowledge Lib
- ✓ EBSCOhost (Academic Search Premier, Psyc INFO)
- ✓ Science Direct
- ✓ EDS (EBSCO Discovery Service)
- ✓ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

(4) 大型コレクション

a. 米国教育情報センター資料 1966—1985 (昭和54年度)

米国 Institute of Education Sciences 内にある Educational Resources Information Center (ERIC) を中心に、教育関係分野で全国 16 の Clearing House を通して収集・整理した非雑誌の文献資料を、マイクロフィッシュ化したもの。

b. 鍵盤楽器研究学位論文集 1971—1980 (昭和59年度)

アメリカ合衆国主要大学の鍵盤楽器及びその音楽に関する学位論文のコレクションだが、音楽教育・音楽史に関するものも若干含まれている。内容は、Keyboard Music 212 点、222 冊、Music Education 4 点、4 冊、Musical Studies 21 点、24 冊で構成されている。

c. 師範学校史・各教育史和文コレクション (昭和60年度)

明治10年から昭和48年までに発行の師範学校史・各教育史の和文コレクション。内容は、教育史・事情10冊、教育法令2冊、学校経営等5冊、教育課程・学習指導・教科別教育31冊、師範学校史等35冊で構成されている。

d. 全英記録文書所在総目録 (昭和63年度)

全英各地に散在する国公立の記録保存所、文書館、国公立図書館、教会及び個人の保存所が所蔵する古文書、記録文書、写本、稿本などの史料について、その概要及び所在を明らかにするもの。本体は、マイクロフィッシュ版で、ユニット1～24を所蔵している。

(5) 文庫

a. 日下部文庫

故日下部節子氏の遺族から寄附された日下部奨学寄附金の一部を基に、平成5年3月に設置されたもので、国際交流の推進に資する図書330冊を所蔵している。

b. 斉藤文庫

児童文化研究会代表・元大谷大学教授の齋藤壽始子氏から、平成22年に寄贈された児童文学研究書・児童図書のコレクションで、約4,400冊の研究書・児童図書・絵本等を所蔵している。

7. 施設（平成31年3月31日現在）

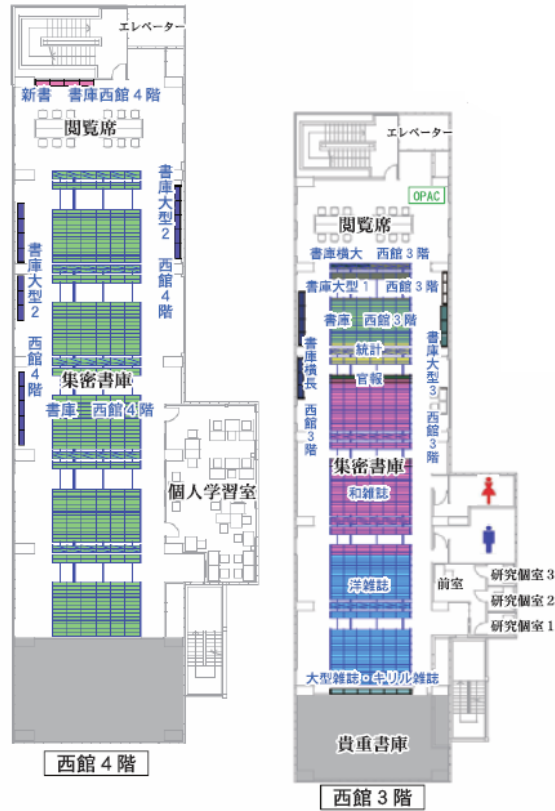
(1) 施設面積

区分	室名	延面積 (㎡)
東館 (1～4階)	書庫	923
1階	児童書コーナー、ブラウジングコーナー、リフレッシュラウンジ、事務室、企画展示室	1,019
2階	開架閲覧室、館長室、研修セミナー室、グループ学習室、ラーニングコモンズ、グローバルスクエア	1,436
3階	集密書庫、研究個室、貴重書庫	535
4階	集密書庫、個人学習室、階段室	569
合計		4,482

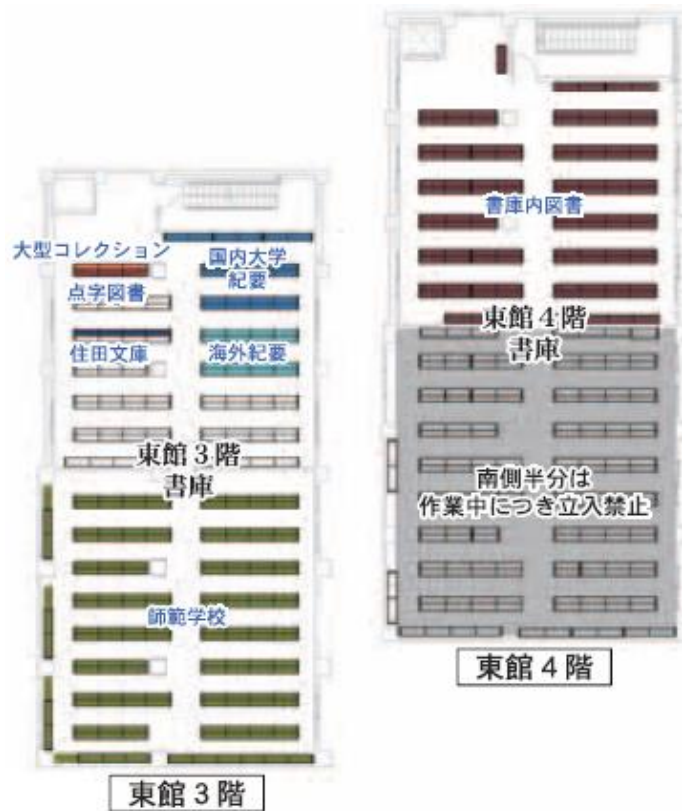
(2) 用途別面積・設備

区分	面積 (㎡)	設備	閲覧座席数
開架閲覧室	744	情報検索 (OPAC) 端末	105
児童書・ブラウジングコーナー	318	置き畳、児童用・幼児用椅子 AVブース (各種視聴覚機器設置)	30
書庫	1,546	情報検索 (OPAC) 端末、電動集密書架	28
グローバルスクエア	35	大型液晶ディスプレイ、BDプレーヤーなど	17
研修・セミナー室	188	視聴覚機器、プロジェクター、大型スクリーン、ワイヤレスマイク、電子黒板、テレビ会議システムなど	14
グループ学習室	32	ホワイトボード	12
個人学習室	59		17
研究個室	23		4
ラーニングコモンズ	130	電子黒板、ホワイトボード、IPC 端末	43
企画展示室	186	展示ケース、ライティングダクト、ピクチャーレール、展示用ボード、スポットライトなど	
リフレッシュラウンジ	102	ホワイトボード	15
ホール	418	複写機、情報検索 (OPAC) 端末、自動貸出返却装置	
管理室等	701		
合計	4,482	合計	285

c. 西館3、4階平面図



d. 東館書庫3、4階平面図



8. 平成30年度 特色ある取り組み

(1) 図書館利用・読書啓蒙の働きかけ

平成27年7月より「わくわく！KYO²ライブラリー図書館活性化プロジェクト」をスタートし、継続実施中。

図書館に行こう！→図書館を知ろう！→図書館で過ごそう！→図書館を使おう！→図書館をひろげよう！

a. 「図書館に行こう！」(＝親しみやすい場所にする)

- ライスボールセミナー「それはかなう夢講座」の後援
(全5回：5月、7月、10月、12月、1月)

リフレッシュラウンジで、理系に関するさまざまなトピックについて本学教職員がわかりやすく解説するセミナーが行われ、全日多くの学生でにぎわいました。



- 中庭コンサート
(6月14日)

附属図書館の中庭で、「器楽基礎演習」の受講生によるリコーダーとトーンチャイム、鍵盤ハーモニカのコンサートが行われました。京都教育大学学歌やサウンドオブミュージックのテーマ、スタジオジブリの映画音楽など、よく知られた曲で心癒やされる音色を響かせ、訪れた人の耳を和ませていました。



- 就職担当部署（学生課）との連携

就職セミナーや就職活動のゼミなどを研修・セミナー室で実施し、同時に学修相談デスクのスケジュールを配布したほか、就職関連図書や雑誌の寄贈を受け、就職支援コーナーに配置しました。

b. 「図書館を知ろう！」(＝学生との距離を縮める)

- 学修支援員の配置（平成27年10月～継続）

学期中の月～金16:30～19:00の時間帯で、理科教育および数学教育専修の大学院生をラーニングcommonsに配置しています。平成30年度は、数学の問題の解き方や教員採用試験対策などについての相談がありました。

- 読書キャンペーン（10月～2月）

図書館の本を借りてコメント（400～600字程度）またはポップを書いて提出すると参加賞がもらえるキャンペーンを実施しました。

- 選書ツアー（8月、10月）

学生が書店で実際に本を選べる選書ツアーを2回実施しました。4学科7名の参加で74冊を購入し、選書した学生のコメントをつけて展示しました。

- 話題書の購入「リクエストと投票で話題の本を読もう」（年10回）

(平成29年5月より継続実施)

学生からのリクエスト（学術研究教養目的以外）および新刊書や話題書から図書館員が選定したものを合わせ、毎月20冊程度を対象として、購入してほしい本に投票をしてもらう利用者参加型の企画を行いました。その中で得票数の高いものを購入し、年間で103冊を購入しました。



c. 「図書館で過ごそう！」(＝館内の環境整備、サービス向上)

▶日曜開館の試行(3回)

学期末試験前の日曜日(7/22、8/5、2/3)を試験的に開館し、合計352人の入館者がありました。この結果を受け、次年度以降も実施することを決定しました。

d. 「図書館を使おう！」(＝資料・施設の利活用)

▶企画展示室利用による展示等の開催

本学の学生・教職員などが図書館内の企画展示室を活用し、下記の展示が行われました。

- ・アートフォーラム展(会期5/12-5/26)
- ・知ることからはじめよう。LGBTパネル展(6/23-7/20)
- ・小学校教科内容論音楽「記譜」課題優秀作品展(7/13-7/31)※リフレッシュラウンジで実施
- ・博物館概論企画展 コレクション×コレクション vol.2(7/28-8/3)
- ・ART FUM 作品展(8/2-8/7)
- ・MOA美術館伏見区児童作品展(10/20-10/27)
- ・同窓会写真展(11/16-11/19)
- ・KYOKYO SDGs ～私達ができること～(11/21-12/27)
- ・e-project 京教 木の実の"魅力"展(1/10-1/23)
- ・中等理科教育Ⅲ制作物展 化石ミニ博物館(1/17-1/24)
- ・小学校教科内容論音楽「記譜」課題優秀作品展(1/23-2/6)※リフレッシュラウンジで実施
- ・附属学校園こども美術作品展(1/29-2/4)
- ・はじめよう日本画展(2/5-4/17)

▶シラバス図書(16冊)を電子書籍でも購入

シラバスに掲載された参考図書のうち、購入可能なものについて電子書籍でも購入しました。

▶現物貸借図書の館外貸出を試行

現物貸借依頼のうち、教員が校費で申し込んだものに限り、借用図書の館外貸出を開始し、平成30年度の貸出実績は18冊でした。

▶スマートフォン用図書館アプリの提供開始

蔵書検索や利用状況などが確認できる、「Ufinity」という図書館アプリの提供を開始しました。

▶テーマ図書展示

職員や教員の選書により、以下の図書を展示しました。

- ・ミニ カズオ・イシグロ展(4月2日～5月14日)
ノーベル文学賞受賞を記念して、教員所有のサイン本などを含め展示しました。
- ・加古里子 著作コーナー(6月5日～6月30日)
加古里子氏の訃報を受け、絵本や研究書などを展示しました。
- ・保育士試験対策コーナー(6月25日～7月2日)
実技試験の課題図書となっている昔話の絵本・紙芝居などを展示しました。

e. 「図書館をひろげよう！」(＝他館、他部局等との連携)

▶府内公共図書館等との相互貸出(平成29年4月～継続)

京都府立図書館との相互協力にかかる協定締結(平成29年3月)に基づき、京都府内の図書館・読書施設等との相互貸借を実施しています。平成30年度は、貸出99件、借受44件でした。

➤**教育資料館との協力（平成30年8月～継続）**

教育資料館の所蔵品を1点ピックアップして紹介する「今月の逸品」を附属図書館で展示し、より多くの来館者の目に触れました。

➤**京阪奈三教育大学との連携プロジェクト（継続）**

京阪奈三教育大学の連携プロジェクトの一環として、現物貸借無料化、双方向遠隔授業パスファインダーの作成を行いました。また、職員合同研修（11/29「教員養成系大学の図書館と教科書」）を京都教育大学にて実施しました。

(2) 利用者教育

a. 新入生図書館ガイダンスの実施

学部新入生を対象に、専攻毎に図書館の利用方法、論文検索方法等を説明しました。（4～7月 全13専攻 327名）

b. 各種講習会の開催

館内ツアーや論文検索概論、文献管理ソフトの紹介などさまざまなレベルに分けて自由参加の講習会を実施する、図書館レベル別講習会（6講座 延べ24回 57名）や、ゼミやクラス単位で必要な内容を組み合わせるオーダーメイド講習会（12回 77名）を実施しました。また、国立国会図書館より講師を招き、国立国会図書館のサービスなどについて解説する講習会（1回 14名）を実施しました。

(3) 地域貢献

a. うたとおはなしの会の開催

幼児教育科平井研究室と附属図書館の共催で年2回開催しています。4月28日開催の第30回に172名（本公演158名、ミニ講演14名）、12月15日の第31回に156名の参加があり、大変賑わっていました。



b. 読み聞かせ会「えほんのもり」の開催

（平成25年10月より継続実施）

児童書コーナーで学生による読み聞かせや手遊びなどが行われています。また、学生が絵本紹介カードを作成し、掲示しています。平成30年度は20回開催し、保護者・子供あわせて113名の参加がありました。



c. 第2回絵本と人形展

幼児教育科との共催で、うたとおはなしの会の人形劇で使用した人形を集めて、劇中の1場面を再現する展示などを行いました（4月16日～4月28日、来場者約600名）。親子連れを中心に「子どもと一緒に写真撮影ができるのがよかった」など好評を得ました。



d. 第23回教科書展の開催

附属図書館が所蔵している教科書などを下記のとおり展示公開しました。

- (1) 開催期間：11月15日～12月27日（来場者約1,000名）
- (2) 内容：「平和教育と教科書～教科書で戦争と平和を考える～」と題して、戦時下と戦後の教科書等を展示し、時代とともに変わる教育の内容を解説した
- (3) 後援：京都府教育委員会、京都市教育委員会
- (4) 講演会：「次世代につなぐ平和教育 ～平和で民主的な社会の形成～」(11月24日、参加者24名)



e. 職場体験事業への協力

附属学校や京都市立中学校などが行う職場体験事業により下記のとおり生徒を受け入れ、カウンターでの貸出・返却業務や図書の装備・配架等の業務を体験してもらいました。

- 京都市立大淀中学校生徒 2名 4日間（6月12日～6月15日）
- 附属桃山中学校生徒 3名 3日間（7月3日～7月5日）
- 附属特別支援学校生徒 2名 2日間（8月6日～8日）
- 京都市立深草中学校生徒 3名 3日間（11月6日～11月8日）

9. 刊行物

(1) 紀要

- 昭和26年 5月 京都学芸大学学報（現紀要）第1号が発行された。
- 昭和36年 12月 京都学芸大学学報が、第19号から京都学芸大学紀要と改称された。
- 昭和43年 9月 京都教育大学紀要委員会規則が制定された。
- 昭和56年 3月 京都教育大学紀要委員会規則の一部が改正され、紀要の編集、発行等に関する事務が、庶務課から附属図書館に変更された。
- 平成元年 7月 京都教育大学紀要委員会規則を廃止し、京都教育大学学術委員会規則が制定された。
- 平成16年 4月 国立大学法人に移行したことに伴い、京都教育大学学術委員会規程と改正された。
- 平成18年 4月 第108号よりホームページ上での公開を開始した。
- 平成21年 10月 京都教育大学学術情報リポジトリ「クエリの森」での公開を開始した。
- 平成25年 9月 学内組織再編により、京都教育大学附属図書館委員会規程と改正された。
- 平成27年 4月 教科教育分野において希望者への査読を開始した。

10. 教科書展及び特別展

(1) 「教科書展」の開催

京都教育大学 120 周年記念事業の一環として、平成 8 年 5 月に第 1 回教科書展「明治・大正・昭和初等教育用教科書（国語編）」展を開催し、以後、下記のとおり年 1 回開催している。

会期	タイトル	備考
平成 8 年 5 月 29 日～6 月 5 日	明治・大正・昭和初等教育用教科書（国語編）	第 1 回
平成 9 年 6 月 5 日～6 月 11 日	明治・大正・昭和初等教育用教科書（社会編）	第 2 回
平成 10 年 5 月 28 日～6 月 3 日	明治・大正・昭和初等教育用教科書（理科編）	第 3 回
平成 11 年 11 月 16 日～11 月 22 日	明治・大正・昭和初等教育用教科書（算数編）	第 4 回
平成 13 年 1 月 29 日～2 月 3 日	明治・大正・昭和初等教育用教科書（図画工作・書写編）	第 5 回
平成 13 年 12 月 17 日～12 月 23 日	明治・大正・昭和初等教育用教科書（音楽編）	第 6 回
平成 14 年 11 月 5 日～11 月 10 日	明治・大正・昭和初等教育用教科書（修身編）	第 7 回
平成 15 年 11 月 4 日～11 月 10 日	明治・大正・昭和初等教育用教科書（体育・家庭 [家事・裁縫] 編）	第 8 回
平成 16 年 11 月 16 日～11 月 22 日	知的障害養護学校用教科書の歩み	第 9 回
平成 17 年 11 月 8 日～11 月 14 日	中等教育用教科書（国語編）	第 10 回
平成 18 年 11 月 14 日～11 月 23 日	中等教育用教科書（英語編）	第 11 回
平成 19 年 11 月 8 日～11 月 23 日	中等教育用教科書（社会編）	第 12 回
平成 20 年 11 月 6 日～11 月 22 日	中等教育用教科書（数学編）	第 13 回
平成 21 年 11 月 5 日～11 月 25 日	中等教育用教科書（理科編）	第 14 回
平成 22 年 11 月 5 日～11 月 25 日	暫定教科書（折りたたみ教科書）編	第 15 回
平成 23 年 11 月 8 日～11 月 28 日	中等教育用教科書（家庭編）	第 16 回
平成 25 年 3 月 28 日～4 月 30 日	中等教育用教科書（技術編）	第 17 回
平成 26 年 3 月 31 日～4 月 30 日	中等教育用教科書（音楽編）	第 18 回
平成 26 年 10 月 27 日～11 月 14 日	中等教育用教科書（美術編）	第 19 回
平成 27 年 11 月 13 日～12 月 25 日	中等教育用教科書（保健体育編）	第 20 回
平成 28 年 11 月 9 日～12 月 10 日	高校物理・生物編	第 21 回
平成 29 年 11 月 9 日～12 月 27 日	環境教育（副読本の歩み）編	第 22 回
平成 30 年 11 月 15 日～12 月 27 日	平和教育編	第 23 回

(2) 「特別展」の開催

会期	タイトル	備考
平成16年3月21日～ 4月10日	「解体新書」特別展	安永3年(1774年)の刊記がある杉田玄白らの「解体新書」全巻が、平成15年10月24日に図書館書庫で発見され一般公開
平成16年7月1日～7 月30日	京の江戸時代展	
平成16年9月21日～ 10月29日	吉田松陰ゆかりの書物展	
平成17年3月1日～3 月25日	京都教育大学と京都教育大学同窓会の歴史資料展	
平成17年3月30日～ 4月28日	北斎漫画展	
平成17年7月1日～8 月31日	数学・数学教育の古典小倉金之助著作展—生誕120周年記念—	
平成17年9月12日～ 10月13日	真下飛泉関係著作展	
平成17年12月1日～ 12月27日	塩野直道関係著作展	
平成18年3月31日～ 4月28日	旅の記録を読む：旅する人たち	
平成19年4月5日～4 月14日	京都府師範学校時代の教育展	第12回ふれあい伏見フェスタ企画展示
平成20年4月4日～4 月7日	アナログ時代へタイムスリップ	第13回ふれあい伏見フェスタ企画展示
平成20年7月1日～8 月9日	京教の源氏物語展—源氏読本のうつりかわり—	
平成21年4月4日～4 月6日	いこしえの教材・教具展	第14回ふれあい伏見フェスタ企画展示
平成22年4月10日	解体新書展	第15回ふれあい伏見フェスタ企画展示
平成23年4月9日	解体新書展	第16回ふれあい伏見フェスタ企画展示
平成23年10月3日～ 10月31日	原発問題と再生可能エネルギー	
平成24年1月26日～ 2月14日	写真の歴史	
平成24年4月14日～ 4月28日	観光ガイドブックに載っていない伏見の見どころ・昭和編	

会期	タイトル	備考
平成 25 年 5 月 20 日～ 6 月 14 日	写真展小さな花と実	
平成 25 年 10 月 23 日～ 11 月 10 日	写真展示「増改修の歩み」と「以前の図書館」	
平成 25 年 10 月 23 日～ 11 月 15 日	特別展示「ヒッグス粒子を見つけたアトラス検出器」	
平成 25 年 12 月 3 日～ 平成 26 年 1 月 31 日	第 2 回写真展小さな花と実	
平成 26 年 5 月 27 日～ 6 月 30 日	第 3 回写真展小さな花と実	
平成 27 年 4 月 13 日～ 4 月 25 日	絵本と人形展「おはなしの世界へようこそ！」	主催：幼児教育科 平井研究室
平成 29 年 3 月 24 日～ 5 月 10 日	追悼展：土倉亮一名誉教授「小さな花と実」によせて	
平成 30 年 4 月 16 日～ 4 月 28 日	第 2 回絵本と人形展 「おはなしの世界へようこそ！」	主催：幼児教育科 平井研究室

11. 電算化状況

- 平成元年 5月 京都大学附属図書館を經由 (NI ネット利用) して学術情報センターに接続し、目録業務を開始した。
- 平成3年 2月 附属図書館専用電子計算機 (FACOMK-650/30) を導入し、閲覧システム、受入システム等の業務を開始した。
- 平成4年 4月 NACSIS-ILL を開始した。
- 平成6年 3月 附属図書館専用電子計算機を、「FACOMK-6500/10」に機器更新した。
入退館管理システムを設置した。
- 6月 情報処理センターのホストコンピュータに書誌的データを転送し、学内 LAN を利用した OPAC を開始した。
- 平成10年 2月 附属図書館専用電子計算機を、情報処理センターの機器更新と一体化し、学内 LAN を經由して学術情報センター (SINET) に接続する UNIX システム (ILIS/X-WR) に機器更新した。
- 平成11年 3月 CD-ROM サーバ (NSCDNetINtrANet/T2000) を設置した。
- 平成13年 3月 入館管理システムを更新した。
4月 文献画像伝送システムを導入した。
- 平成14年 2月 附属図書館専用電子計算機を機器更新し、多言語対応版図書館業務システム (iLiswave) を導入した。
- 平成16年 3月 自動貸出返却装置を設置した。
- 平成18年 2月 附属図書館システムを更新 (iLiswave-J) した。
- 平成21年 2月 入退館管理システムを更新した。
- 平成21年 10月 自動貸出返却装置を更新した。
- 平成22年 2月 附属図書館システムを更新 (iLiswave-J V2) した。
- 平成25年 5月 Shibboleth (シボレス) 認証による DB の利用を開始した。
- 平成26年 2月 附属図書館システムを更新 (iLiswave-J V3) した。
- 平成30年 2月 附属図書館システムを更新 (iLiswave-J V3) した。

(2) 桃山分館長

氏名	任期	備考
山村董一	昭和24. 6. 1～26. 3. 31	
小江慶雄	昭和26. 4. 1～29. 6. 30	
松井清人	昭和29. 7. 1～32. 3. 31	

13. 位置図



✓ JR の場合

JR 京都駅より JR 奈良線で

「JR 藤森駅」下車、西へ徒歩約 3 分

✓ 京阪電車の場合

「京阪・墨染駅」下車

北東へ徒歩約 10 分

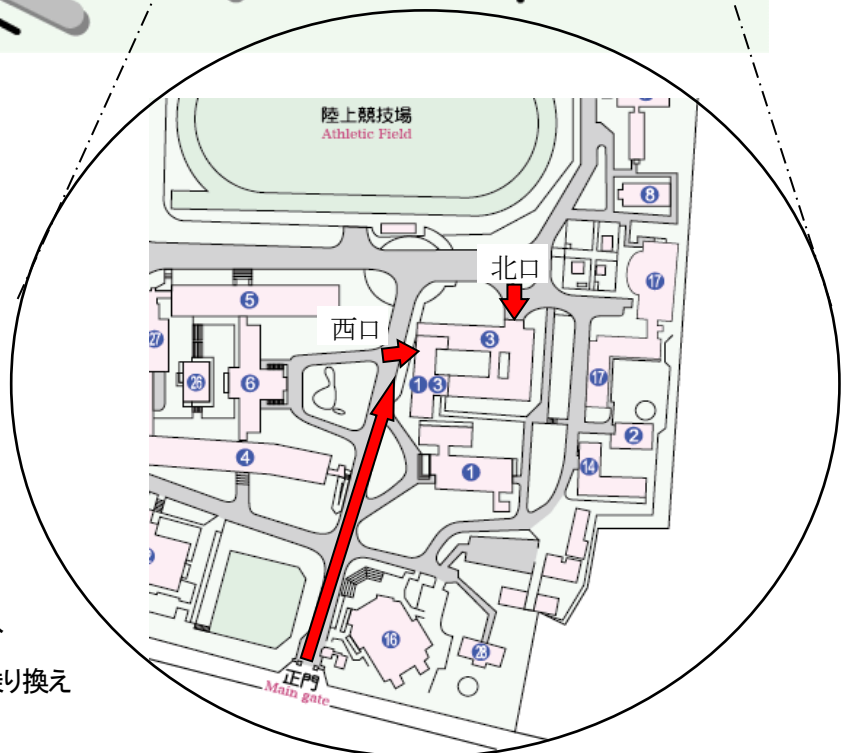
✓ 近鉄電車の場合

「近鉄・丹波橋駅」で京阪電車に乗り換え

「京阪・墨染駅」下車、北東へ徒歩約 10 分

または、「近鉄・京都駅」で JR 奈良線に乗り換え

「JR 藤森駅」下車、西へ徒歩約 3 分





そったくん

2019年9月30日発行
編集・発行：京都教育大学附属図書館
〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1
TEL075-644-8179 / FAX075-644-8182
<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>